

「笑顔たち」の監督と出演陣にインタビュー

なつ な
夏菜 高橋 まり 役

1989年生まれ。NHK連続テレビ小説「純と愛」で主演を果たし、知名度は全国区に。親しみやすいキャラクターと演技力で活躍が期待される若手女優。

—映画「鏡の中の笑顔たち」を札幌で撮影された理由を聞かせてください
喜多 この作品は、仕事に挫折して笑顔を忘れてしまったカリスマ美容師が都会から地元に戻り、雄大な自然と心温かい人々との触れ合いを通して自分の進むべき道を見いだしていくストーリー。札幌は、そんな物語のイメージを映像で表現するのにぴったりな街だと思います。
—真冬のロケ撮影だったと聞いています
白石 はい。昨年12月に撮影をしたのですが、屋外での撮影は正直寒かったです(笑)。でも、空から舞い降りる雪はすごく幻想的で、その雰囲気には滞在在中いつも感動していました。
夏菜 そうそう、あの光景は北海道ならではのですね。特に北3条広場でのシーン—赤レンガと白い雪のコントラストがきれいでとっ

力をのせて

直接心に響くメッセージ。力を発信し、街を元気にする。ここでは、市内でロケ撮影を取材インタビューなどを通して、映像可能性を紹介します。

☎211-2379

でも印象に残っています。
—今回の映画の約9割が札幌ロケだったそうですね
喜多 はい。映画を撮るとき、私はその街のありのままの光景を映像に生かすことにこだわっています。そのせいもあって、ロケ場所の確保などにはいつも苦労するのですが、札幌市がコンテンツ特区に指定されているおかげで撮影がスムーズに進み、市街地の映像をたくさん盛り込



き た いち ろう
喜多 一郎 映画監督

1956年生まれ。TVプロデューサーを経て㈱オフィスキタを設立。監督のほか、原作・脚本も手掛け、心温まる作風で知られる。主な作品は「シェアハウス」「ヨコハマ物語」^{ほか}。



『札幌コンテンツ特区』とは? ▶ “コンテンツ”は、映像や音楽など人々が観賞する情報のこと。市は、平成23年12月に、「映像の力」を活用して、観光や食をはじめとする地域の活性化を目指す、国内初の特区に指定されました。

特区のここがすごい!

市内での撮影をスムーズに

撮影が円滑に進むよう映像制作会社に代わって関係機関と調整する専門スタッフがいるほか、海外からのロケ隊が撮影しやすいよう、通訳スタッフも配置しています。



国内外からのロケを積極的に誘致

映画やテレビなど、札幌でロケを行う作品の制作費の一部を援助したり、アジアを中心とした国々と共同でロケを行ったりして、市内での撮影の機会を増やしています。

共同ロケ実施国と地域
タイ、インド、台湾、ベトナム、ロシア、香港、フィリピン、韓国 など

撮影が増えると...



市内の映像に関する産業の活性化

撮影関係者の滞在、飲食などによる経済効果

映像を通じた札幌の魅力発信により観光客が増加



札幌コンテンツ特区初のロケ誘致作品 映画「鏡の中



むことができました。
 —主演のお2人は、札幌での映画ロケが初めてと伺っています
夏菜 今回の滞在ですっかりとりにこになりました(笑)。何といても食べ物がおいしいですよ。ジンギスカン、スープカレー、ラーメン…。撮影期間にいろんなお店を巡りました。プライベートでもぜひまた来たいですね。
白石 僕は、映画にも出てくる藻岩山から見た街並みが忘れられません。3月に沖縄で開催された国



白石 隼也 井上 遼 役

1990年生まれ。特撮テレビドラマ「仮面ライダーウィザード」の主人公を演じ注目を集める。存在感のある演技で、今後の活躍が期待される若手俳優。



際映画祭でもこの映画を上映しましたが、満席の会場では、皆さんスクリーンに映る札幌の光景に見入っていましたよ。
 —監督、最後に札幌の皆さんへメッセージをお願いします
喜多 四季を通じてさまざまな表情を見せる札幌は、ロケ地として魅力的な街です。市民の皆さんだけでなく、全国の方にこの作品を見ていただき、映画の内容とともに、札幌の街の素晴らしさを知ってもらえるとうれしいですね。

街の魅力に映像に

映像—それは言葉を超えて市は、映像を使って札幌の魅力取り組みを進めています。此行した映画関係者へのインを活用した街の魅力発信の

詳細 コンテンツ産業担当

5/30(土) 全国公開 映画『鏡の中の笑顔たち』

東京の有名サロンで客とトラブルを起こした男性美容師が、札幌に帰郷する。再就職先で、高齢者への訪問美容などの仕事に懸命に取り組む女性と出会った彼は、周囲の人々との関わりの中で成長していく。

監督:喜多一郎 脚本:瀬古千裕、喜多一郎 出演:白石隼也、夏菜、中尾明慶、瀬古千裕、深田綾、松下由樹、ミッキー・カーチス、松原智恵子 ほか

シネマフロンティア(中央区北5西2ステラプレイス内)で公開 ©2015「鏡の中の笑顔たち」製作委員会



こちらもcheck! 心に残る映像に出会える場がほかにも

世界90カ国以上の映像作品が集結
札幌国際短編映画祭 10/7(水)~12(祝)開催

今年で10周年を迎える国際映画祭。毎年、3千作品以上の応募があり、ドキュメンタリー、コメディ、アニメーションなどあらゆる分野の作品を楽しむことができます。

過去の作品を無料上映 日時 来年3月までの第2木曜18時30分~20時(9月・10月を除く) 場所 インタークロス・クリエイティブセンター(白石区東札幌5の1産業振興センター内)



雪まつりの大雪像を映像と音で演出
プロジェクションマッピング

大雪像の色や形が変わったり、一部が動いたりしているように見える映像アート。雪像に映像を投射する世界初の試みが、雪まつりの新しい魅力の一つとして注目を集めています。



↑今年2月の雪まつりでは、世界遺産「春日大社」の雪像に色鮮やかな映像が映し出された ©HTB

映像の発信が街を輝かせる

映画やテレビなどで発信される札幌の風景には、見る人を引きつけ、街を元気にする力があります。皆さんも、こうした映像を通して、街の魅力を再発見してみませんか。

読者プレゼント

映画「鏡の中の笑顔たち」の観賞チケットを10組20人に、喜多監督、白石さん、夏菜さんのサイン入り台本をそれぞれ各1人にプレゼント!

応募方法 はがき、ファクス、Eメール。住所、氏名、年齢、電話番号、本誌の感想、希望品名を記入し、5/21(木)(消印有効)までに広報課(1ページ)へ。多数時抽選